



■ 病院外観

病院紹介

沖縄県立八重山病院は八重山圏域における基幹病院として地域医療提供体制の更なる充実を図るため、平成30年10月1日に旧石垣空港跡地（石垣市真栄里）へ新築移転開院しました。

新病院は八重山圏域で完結できる医療機能を目指し、将来の医療需要の変化に対応しながら、安定した医療サービスを提供できる「拡張性ある病院」として整備を進めました。特に、「高度医療機器や設備の導入」、「病院機能の更なる強化」、「患者さまへのホスピタリティー向上」により重点を置いた新しい病院が完成しています。

また、新石垣空港アクセス道路から見たことが出来る外観には、八重山上布のミンサー柄や、八重山自生植物の配置、琉球石灰岩などの八重山の自然建材を使用しました。内装には八重山上布のミンサー織が院内の各所に飾られるなど、島の風土が息づく病院デザインとなっています。



©2018 提供：八重山毎日新聞社



基本理念

地域と共に“より良い生”を支援します

基本方針

地域の皆さまに信頼される病院を目指します（SOFT）

S（Satisfaction 満足）

患者さんが納得し満足するインフォームド・コンセントを目指します
安全・安心・快適で地域住民・職員にやさしい病院を目指します

O（Organization 組織・地域連携）

地域に寄り添い、地域に根ざした組織を目指します
医療・介護・福祉と連携し患者さんの立場に立った組織を目指します
地域の皆さまの健康寿命の延伸に貢献する組織を目指します

F（Flexibility 柔軟性）

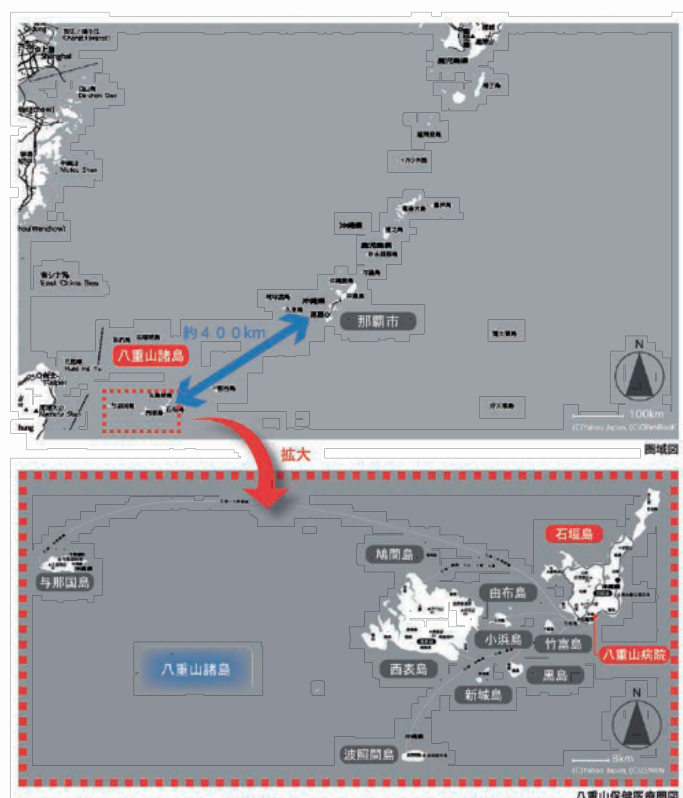
未来を見据え、変化する医療に柔軟に対応する病院を目指します

T（Team Work チームワーク）

チーム医療による質の高い医療サービスの提供を目指します

地域の紹介

当院は、沖縄本島から約400kmから離れた八重山諸島の石垣島に位置します。八重山諸島は、石垣島をはじめ、西表島、日本最西端の与那国島、有人島日本最南端の波照間島など有人島12島から形成されています。県立八重山病院は日本最南端、最西端の公的総合病院であり、4つの離島診療所を有するなど、離島医療の要としての役割を担っています。



特徴

高度な医療サービスの提供

八重山医療圏唯一の公的総合病院としての役割を担っており、地域のみなさまが安心して医療を受けることができる施設や設備を整えています。新病院開院を機に、より高度な医療に対応できる各種検査機器や治療機器を多数導入しました。

*主な医療機器

- ・320列のマルチスライスCTスキャン
- ・血管造影エックス線撮影装置（アンギオグラフィー）
- ・歯科パノラマ撮影装置、乳がん撮影装置（マンモグラフィー）
- ・自動輸血検査システム（より正確で精度の高い輸血検査を実現）
- ・高気圧酸素治療装置の新規入替え（島内唯一、減圧症や末梢循環不全に使用）



■ 320 列のマルチスライス CT スキャンを、県立病院で初導入。県内5番目。



■ 高気圧酸素治療装置

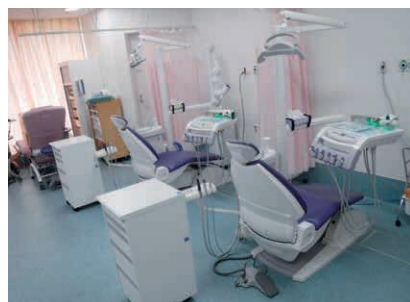


■ マンモグラフィー

医療機能の強化

自己完結できる医療提供体制の構築を目指しています。歯科口腔外科が新設され診療科が全24科となりました。毎年多くの観光客が訪れる石垣島において、輸入感染症の対応強化のため陰圧病床や感染症専用の経路・エレベーターを設置しました。また、集中系病床の増床やGCU（継続保育室）の新設など、地域の中核病院として大きな機能強化を図りました。

- ・歯科口腔外科新設
- ・手術室の増室（3室→4室）
- ・ICU（集中治療室）、HCU（高度治療室）の増床
- ・周産期医療の充実：NICU（新生児集中治療室）に加え、GCU（継続保育室）を新設（6床）
- ・陰圧病床の整備：感染病床（3床）、結核病床（6床）、ICU病床（1床陽圧切替可）
- ・外来化学療法室の増床（5床→15床）、人工透析室（14床→16床）
- ・地域連携センターの拡大強化
- ・大規模災害に対応可能な医療施設（酸素配管等の整備）



■ 歯科口腔外科を新設。これまで石垣島内で対応が困難であった歯科治療を実施します。



■ 人工透析室



■ 地域連携センターでは、患者相談業務と地域医療機関との更なる連携強化を図ります。

ホスピタリティー

当院を訪れるすべての人にやさしい、ユニバーサルデザインに配慮した空間づくりを行いました。患者さま・ご家族、病院スタッフに心のやすらぎをもたらし、治療力を引き出せる環境作りに取り組んでいます。

また、八重山ならではの風土と環境共生に配慮した建物設計を行い、地域とともに歩む病院を目指します。

外 来

- ・診察室や処置室の拡充，診療機能向上のためのスペースを確保
- ・スムーズな外来診療につながる「外来ブロック受付」を導入
- ・駐車場収容台数の大幅な増設（約500台）



■ 広々とした玄関・エントランスホールは、訪れる皆様に快く迎え入れます。



■ 小児科外来の待合室には、地域の動物達をあしらい、地域の自然に親しみを感じさせるスペースとなっています。

病 棟

- ・患者・家族の視点に立った、「快適な療養環境」を提供する病室設計
個室（特別室7床，一般個室25床），2人部屋，4人部屋（星型病床の配置）
※特別室S（2室）には、洗面台、トイレ、シャワー室、応接セット等を完備
- ・産婦人科病棟には、陣痛室・分娩室・回復室が一体となった特別室（LDR）を新設



■ 星形病床室



■ 特別室 S



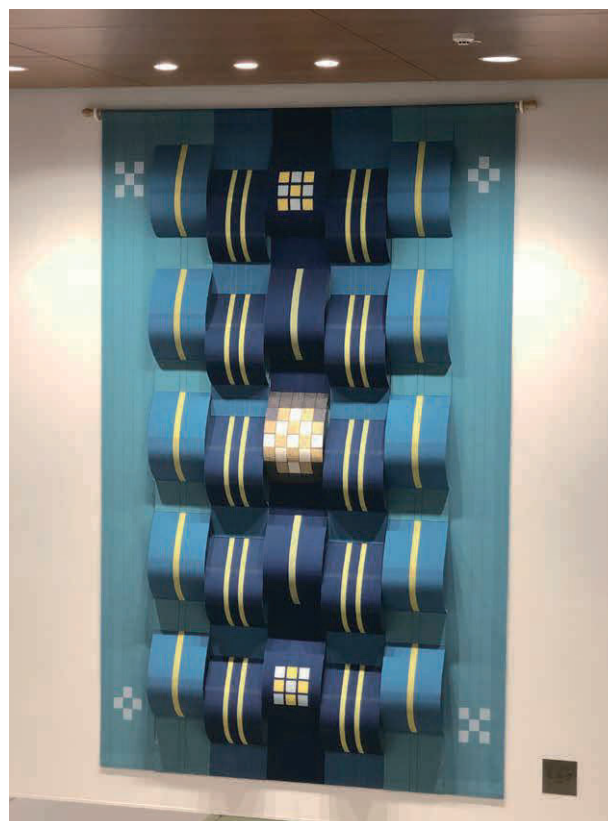
■ LDR



■ 夜は星空が一面に広がります。



■ メイン動線となるホスピタルストリートを中心に各部門を配置。



■ 1Fロビーに飾られている巨大なミンサー織。

フロアガイド

5F	研修ホール
4F	スタッフステーション、デイルーム、東病棟（401-422）、西病棟（451-472）
3F	スタッフステーション、デイルーム、東病棟（301-322）、西病棟（351-370）
2F	産婦人科外来、外来化学療法室、血液浄化療法室、生理機能検査室、産婦人科病棟（201-218）、講堂、手術室、ICU、HCU、GCU、NICU
1F	小児科、内科、外科、脳神経外科、皮膚科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、眼科、救急、整形外科、泌尿器科、放射線科、採血室・採尿室、内視鏡室、リハビリテーション室、こころ科、デイケア室、薬局、地域連携センター、がん相談支援センター、レストラン、売店、総合受付

沿革

- 昭和24年7月9日 石垣市字大川12番地（現八重山郵便局）に慈善病院設立（民政府立）
コンセット建2棟132㎡ 10床
- 昭和25年6月30日 石垣市字登野城3番地（八重山支庁南）へ移転
木造瓦葺200㎡ 10床 慈善病院は八重山総合病院となる
- 昭和26年4月1日 八重山総合病院は八重山中央診療所となる 10床
- 昭和29年7月1日 八重山中央診療所は八重山診療所となる
- 昭和32年10月17日 八重山診療所は八重山療養所となる 32床
- 昭和35年4月30日 石垣市字真栄里436番地（慶田山原）に八重山療養所新築工事竣工
同年11月1日移転
- 昭和35年12月23日 八重山療養所は八重山病院となる
一般26床、結核70床、計96床
- 昭和48年5月21日 精神病棟（50床）開棟、一般48床、結核48床、計146床
- 昭和48年9月14日 外来棟落成
- 昭和51年12月16日 へき地中核病院に指定（厚生省）
- 昭和53年1月31日 石垣市字大川732番地に於て新病院敷地造成工事着工
- 昭和55年4月1日 石垣市字大川732番地の新病院を沖縄県立八重山病院として開設
病床数変更、一般116床（未熟児室1室4床含む）、結核9床、精神50床、計175床
- 昭和55年8月27日 病床数変更、一般139床（未熟児室1室3床含む）、結核9床、精神50床、計198床
- 昭和57年6月2日 病院増改築工事着工（150床）
- 昭和59年2月29日 病院増改築工事竣工、一般病床150床、RC造4階建
延面積6,520,253㎡
- 昭和59年3月31日 西4階内科病棟（54床）開棟、病床数変更、一般190床（未熟児室1室4床含む）、結核9床、精神50床、計249床
- 昭和59年7月3日 救急病院の指定（沖縄県告示第519号）
- 昭和60年2月1日 総合病院承認（沖縄県指令環第26号）
- 昭和60年4月1日 西3階小児科病棟（53床）開棟、一般243床、結核9床、精神50床、計302床
- 昭和61年4月1日 西2階外科病棟（48床）開棟、一般291床、結核9床、精神50床、計350床
- 昭和63年7月1日 泌尿器科開設
- 平成元年10月1日 脳神経外科開設
- 平成3年5月1日 麻酔科開設
- 平成4年4月1日 人工透析室開設、夜勤加算承認
- 平成7年12月26日 人工透析室増改築工事竣工
- 平成9年2月17日 中央採血室設置
- 平成9年4月1日 医局の増築（延面積330㎡）、検査室の増築（延面積362.85㎡）
- 平成9年6月9日 高気圧酸素治療装置稼働
- 平成10年6月1日 院外処方箋実施
- 平成11年3月11日 救急室増改築工事竣工
- 平成11年4月1日 放射線科開設
- 平成11年4月1日 種別ごとの病床数変更、一般291床、結核6床、精神50床、感染症3床
- 平成14年3月29日 精神科デイケア病棟新築工事竣工（鉄骨造1階建 延面積144㎡）
- 平成14年3月29日 MRI室増築工事竣工（RC造1階建 延面積95.38㎡）
- 平成15年5月12日 SARS対策のため旧伝染病隔離病舎を借用（八重山広域市町村圏事務組合）
- 平成15年10月1日 地域連携室・なんでも相談室開設
- 平成18年8月1日 ICU開設
- 平成19年4月1日 外来化学療法室開設
- 平成22年7月14日 助産師外来開設
- 平成24年3月28日 救急室改修工事・新生児治療室改修工事
- 平成26年2月1日 電子カルテシステム運用開始
- 平成26年5月8日 真栄里住宅完成
- 平成26年6月1日 HCU開設
- 平成27年3月1日 NICU開設
- 平成28年2月3日 新八重山病院起工式、石垣市真栄里に八重山病院新築工事着工
- 平成30年8月20日 新八重山病院竣工
- 平成30年9月3日 新八重山病院引渡し
- 平成30年10月1日 新八重山病院開院
精神38床 計302床 地上5階・鉄筋コンクリート造、延床面積23,258㎡
- 平成30年10月1日 歯科口腔外科開設
- 平成30年10月1日 GCU開設

施設の概要（平成30年11月1日現在）

名 称	沖縄県立八重山病院
所在地	〒907-0002 石垣市字真栄里584-1（旧石垣空港跡地）
開設者	沖縄県病院事業管理者 病院事業局長
開設年月日	平成30年10月1日
病院長	篠崎 裕子
敷地面積	39,769㎡
建築面積	10,239㎡
延床面積	23,258㎡
階数・構造	地上5階・鉄筋コンクリート造
病床数	302床（内訳数は下記のとおり） 一般232床, ICU 6床, HCU 8床, NICU 3床, GCU 6床, 感染症3床, 結核6床, 精神38床
駐車台数	536台
診療科目	24診療科 内科, 循環器内科, 呼吸器内科, 消化器内科, 神経内科, 腎臓内科, 小児科, 外科, 呼吸器外科, 消化器外科, こころ科（精神科）, 泌尿器科, 整形外科, 産科, 婦人科, 耳鼻咽喉科, 皮膚科, 眼科, リハビリテーション科, 脳神経外科, 麻酔科, 放射線科, 救急科, 歯科口腔外科（新設）
職員数	計417人 （医師54人, 看護師232人, コメディカル職50人, 事務職64人, その他17人） ※臨任, 嘱託職員等を含む
附属診療所	4診療所（西表西部, 大原, 小浜, 波照間）
指定医療機関	保険医療機関指定／臨床研修指定病院（協力型）／救急病院指定／災害拠点病院指定 へき地医療拠点病院指定／第二種感染症指定／精神保健法指定／応急入院指定病院 心身喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関／年金受給者障害検診病院指定 被爆者一般疾病医療機関指定／被爆者認定疾病医療機関指定／母体保護法指定／助産施設指定 身体障害者福祉法指定／障害者自立支援法指定病院（更正・育成・精神通院医療） 労災保険指定／難病医療費助成指定医療機関／先天性血液凝固因子障害等治療研究事業指定 特定疾患治療研究事業指定／小児慢性特定疾病指定医療機関／養育医療指定／結核予防法指定 生活保護法指定／地域周産期母子医療センター指定／地域がん診療病院指定
学会認定施設	日本整形外科学会認定研修施設／日本麻酔科学会認定病院 日本外科学会外科専門医制度関連施設／日本消化器外科学会専門医修練施設 日本消化器病学会関連施設認定／日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設 日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム